

# 檜の木だより

2022年7月  
第107号

発行月(1/1・4/1・7/1・10/1)

発行：檜の木福祉会（法人本部）  
かしの木の会  
一宮市富田字砂原 2147

Tel/Fax 0586-63-2111 / 61-1200

檜の木福祉会 ホームページ

<http://www.kasinoki.jp/>

ひとり ひとり ひかる

# きぼろ



おいしさが伝わってきます♪



団結力なら負けません!



なかよしですねっ♪



視線の向かう先は... ?

【目次】

- 1P 表紙、目次
- 2P 令和4年度管理者紹介
- 3P 新人紹介、新事務局長就任挨拶
- 4P 運動会実施報告
- 5P コロナ禍中の事業所苦勞話
- 6P 児童発達支援事業開始のお知らせ  
かしの木の会より  
年間行事予定

法人コーナー①

法人の新体制のご報告

令和4年度管理者の皆さん



法人本部 事務局長

野崎 貴詞さん



法人本部事務局長次長

森 繁雄さん



かしの木の里

山口 由美子さん



きーぷ

河合 伸治さん



ゆんたく・すろーぷ

古川 和弘さん



らちえっと

只井 秀明さん



そら豆キッズ

龍田 清佳さん



GHCかしの木

武田 信之さん



檜の木園

加藤 栄治さん



檜の木作業所

伊藤 豪さん



ステップ

大川 哲弥さん



かしの木サポートプラザ

入山 達也さん



療育サポート事業

小島 浩司さん



らでうす

小関 善之さん



法人本部総務課

栗田 基弘さん



法人本部経理課

安井 健治さん



## 令和4年度新規採用者の皆さん

## 事務局長就任の挨拶

～新規採用者の方への質問～

- ① 趣味やマイブーム
- ② 檜の木福祉会の職員となった意気込み



法人本部事務局長 野崎貴詞

昭和56年に「この子らの幸せを考える親の会」の活動から始まった檜の木福祉会の42年目がスタートしました。みんなの「幸せを考える」にはまだまだ力不足ではありますが、今年度より法人本部事務局長の仕事をさせていただくこととなりました。どうぞよろしくお願い致します。

これからの時代は特に、いかにみんなの力になれる事業所になれるか、地域の役に立てる社会福祉法人になれるか、しっかり考えていかなければならない時代だと感じています。時代の流れに向き合い、みんなの想いにこたえていくために、力をつけていけるよう努力していきます。

30数年前、私が檜の木福祉会と出会った頃は、まだたった30人だけの作業所ひとつの小さな法人でしたが、この30年ですいぶん大きくなりました。組織は大きくなりましたが、私たちの目的は、その小さな事業所の頃からまったく変わってはいません。それは、障害のある人たちが幸せであること。そしてその家族が幸せに暮らせること。それを支えていこうとする仲間たちが幸せになること。その活動をとおして、地域全体が幸せになること。

まだまだ力のない私たちが、みんなの幸せのためのお手伝いをさせていただくなどとは、すいぶんおこがましいと思われるかも知れませんが、この30数年は、そのために必死に背伸びをしてきた時間であったことに偽りはありません。そしてそのことは、これからも変わりません。いろんな縁で集まった300名を超えるスタッフたちと一緒に、みんなが幸せになるための活動を続けていこうと思います。

「世界中が幸せであるようにと願うなら、まずは、あなたの隣の人を笑顔にしましょう。それが幸せの第一歩です。」大好きな瀬戸内寂聴さんの言葉です。まだまだ力不足ですが、みんなが、何を求めているのか、どうすれば笑顔になれるのか、じっくり考えながら、前に進んでいこうと思います。今後とも、引き続きのご指導ご支援をお願いします。



- ① ユーチューブで音楽を聴くことです。
- ② 利用者さんの良いところを伸ばして一緒に成長していきたいです。

浅井美咲さん

ステップ



- ① ユーチューブを観ることです。
- ② 利用者さんに優しく寄り添って、笑顔あふれるわがんせにしたいです。

南垣更さん

ステップ



- ① 今はなかなか行けないけど旅行が好きです。
- ② 利用児童や保護者に寄り添える職員になりたいです。

河端莉那さん

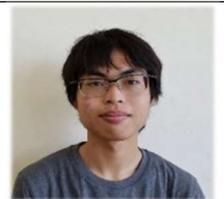
そら豆キッズ



- ① 韓国ドラマに最近ハマっています。
- ② 利用者さんと仲良くなりたいです。

吉田音依呂さん

らでうす



- ① オンラインゲームと音楽鑑賞と読書です。
- ② 右も左も分からないので仕事を通して成長していきたいです。

岩田悠冬さん

かしの木の里



## 法人コーナー②

### 運動会実施報告



5/28 (土)

富田山グラウンド：かしの木の里、らちえっと、らでうす

チャイプ園庭：かしの木サポートプラザ

6/18 (土)

富田山グラウンド：榎の木作業所、榎の木園、ステップ

新型コロナウイルス感染症の陽性者数に一喜一憂する中、今年度の運動会も昨年度に引き続き、法人全体での開催を見送ることとなりました。このような状況下、「事業所単独での開催では盛り上げに欠ける」「自粛続きでうんざりだ」「運動会ならではの賑やかな雰囲気を楽しみたい」との意見が多く聞かれたこともあり、感染対策を工夫しながら、どうにかして合同での実施ができないか検討を重ねました。法人本部との協議の結果、法人内の事業所を二分割して日程を分けて実施することが決まりました。まず、5月28日(土)に、かしの木の里・らちえっと・らでうすの合同運動会を、次いで6月18日(土)に榎の木作業所・榎の木園・ステップの合同運動会を実施する運びとなりました。かしの木サポートプラザについては事業所が少々遠方にある都合上、単独開催となりましたが、それぞれの場所で、それぞれの利用者さんが、それぞれに楽しむことができました。



ここでは、5月28日(土)の様子についてお伝えしたいと思います。

かしの木の里・らちえっと・らでうす合同の運動会では、従来の玉入れでは密になってしまうことから、新しく「サークル玉入れ」という競技を取り入れました。「サークル玉入れ」は、等間隔に座った状態で点数

の割り振られた的に玉を投げ入れて合計点を競うもので、らちえっとの利用者さんにも、高齢の利用者さんにも優しい競技でした。組み合わせの工夫で対抗意識を刺激し合い、大いに盛り上がりました。

その他に恒例のパン食い競争や職員有志による仮装隊の盛り上げもあり、旧来に増して賑やかな運動会となりました。



一方のかしの木サポートプラザでは、玉入れやパン食い競争の他に、「こいのぼりさがし」を行いました。「こいのぼりさがし」では最後の1ピースが見つからず、競技時間を延長してみんなで必死に探すなど大変盛り上がりました。



かしの木サポートプラザは単独開催となったものの、競技時間を長くとする事ができるため、利用者さんひとりひとりが濃密な時間を過ごすことができました。



こうした利用者さんの笑顔を糧に、今後も感染症や社会の流れとうまく付き合いながら、利用者さんと共に歩むことを続けていきたいと考えています。

かしの木の里・らちえっと・らでうす  
レクリエーション担当一同

### 法人コーナー③

#### With コロナ ～ GHC かしの木 ～

今年の3月榎の木福祉会内で猛威を振るった新型コロナウイルスについて、管理者目線での報告をさせていただきます。

#### GHC かしの木利用者様の感染状況

施設名	入居者	陽性者	濃厚接触者	非該当者
あざみの家	3人	1人	2人	0人
かえでの家	5人	1人	1人	0人
さつきの家	5人	1人	4人	0人
ふくぎの家	4人	4人	0人	0人
オリーブの家	5人	2人	2人	1人
あやめの家	6人	2人	3人	1人
みずきの家	6人	2人	4人	0人

濃厚接触者のみのホーム：3ホーム。

その中で、療養者2名、待機者1名が、ご自宅で過ごされました。

また、GHC かしの木職員の感染状況として、陽性者4名、濃厚接触者3名でした。榎の木福祉会内で感染した方、そうでない方、濃厚接触者のみのホームも含めて、15ホーム中10ホームがグループホーム内での静養や待機を余儀なくされました。全グループホームが落ちつくまで、3月3日～3月29日までのほぼ1か月を要することになりました。

グループホームでの対応ですが、体調不良者が出ると、ホームの職員は、感染予防対策としてマスク、フェイスシールド、防護服、手袋をして通院同行します。陽性が診断されれば各関係者に連絡をし、その後、保健所と連絡を取ります。濃厚接触者と思われる方をグループホームでリストアップし、検査キットを保健所に受け取りに行き、予防対策をしたうえでホームの職員で唾液の検体を取り、保健所に出します。また、紙皿や消毒類、かご等、予防対策に必要な物品、個室で食事するための机等の準備をします。全ホームではないのですが、かしの木の家から戴いた一斗缶の高濃度アルコールは、ホーム内を消毒する際、利用させていただきました。

もともと、グループホームの平日の日中は職員が配置されていません。通常配置時間帯に配置されている職員についても諸事情により出勤できない状況

にもなりました。休日出勤、勤務時間の延長等、初期の段階では、何とかグループホームの職員で対応していました。なれない防護服での対応、濃厚接触者に感染させてしまわないように、その都度必要とされる着替えや消毒作業等が疲労感に拍車をかけていました。自分が感染してしまうのではないかという不安と緊張。自宅に帰ったときに物も言わず風呂場に直行する。家の中、家族でマスク着用し距離をとる等の毎日でした。次々と新たな感染者や対象とされるホームが増えてくるにつれ、疲労のピークは予想よりも早めに訪れてしまいました。

そんな時に日中事業所から応援にホームに入れるという声がありました。応援に来た日中事業所の職員にとっては、日頃おつきあいでいない利用者さんも含め、なれないホームの支援で戸惑っていたと思います。しかし、そんなことはおくびにも出さず元気に一生懸命取り組んでいました。これについては同じ法人職員として感謝しかありません。

今振り返ると怒涛の1ヶ月でした。グループホームの利用者さんは、日中はそれぞれの方に合った事業所に行っています。一つのホームで複数の日中事業所とかかわりあっていることとなります。そのため感染症を共有するリスクは増大します。また、かしの木グループホームは少人数多ホームという形態のため、日中の一事業所の影響が複数のホームに拡散しやすいことを今更ながらに実感しました。日頃は、かしの木グループホームの形態は良いことと思えるのですが、こと感染症となるとこんなにも影響を受けやすいのかと感じました。

今、社会的に感染者数は落ち着き、マスク着用や外出、イベントについても少しずつ対策が緩和されつつあります。しかし、4回目のワクチン接種のこともニュースで見ます。まだまだ、3月のようなことがある可能性は高いと思います。一度、感染が拡大してしまうとこんなにもグループホームは脆いものなのかと、やはり予防に力を入れることが大切なのだ実感しています。

GHC かしの木 管理者 武田信之



## 法人コーナー④ そら豆キッズ

そら豆キッズは平成23年度に開所し、放課後等デイサービス事業は5月に12年目を、また、平成28年にスタートしました保育所等訪問支援事業は6月に7年目を迎えることとなりました。皆様のご厚情に心より感謝申し上げます。

これまでチャイプでは、療育相談を始め、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援を通し、たくさんのお子さんや保護者の方々と関わらせて頂いてきました。その中で、幼児期からのサポートの重要性を感じ、児童発達支援事業について検討し、準備を進めて参りました。

多方面よりご協力を頂きながら、チャイプ館内外の改修工事や準備を終え、この4月より、児童発達支援事業を開所させて頂く運びとなりました。

これまで療育相談内で行ってきた体験療育やそうさんひろばなどでの経験や発達支援を専門的に行ってきた職員のスキルを活かし、グループ活動を中心にお子さんや保護者の方への個別サポートを行っていきます。



社会の様々な変化に伴い、お子さんを取り巻く環境も変化し多様化しています。多角的に物事を考えながら専門的なサポートを行いながら、お子さん自身が楽しい経験を積み重ねていく中で、お子さんも保護者の方も安心して過ごせる場になるよう支援していきたいと思っております。

そら豆キッズ 児童発達支援管理責任者  
龍田清佳

## かしの木の会コーナー

かしの木の会 総会  
「書面表決による総会の実施」

令和4年初頭より、オミクロン株が猛威を振るい、3月下旬まで蔓延防止等重点措置が実施されておりました。

解除となったばかりの4月では一堂に会しての総会の実施は難しく、今年度も昨年度同様書面表決による総会の実施へと変更いたしました。

会員の皆様からご提出頂いた書面表決回答書の集計を実施し、多くの賛成票をいただき、可決成立いたしました。

会員の皆様のご協力に対し、この場をお借りして御礼申し上げます。

発生から2年以上経過した新型コロナウイルス感染症ですが、未だ収束の気配を見せておらず、本会の運営においてもコロナ対策等でご不便をおかけしておりますが、感染防止対策故とご理解頂けますようお願い申し上げます。

会長 小杉 ひらみ

## 法人コーナー

～榎の木福祉会の年間行事予定～

※令和4年度の事業計画より

8月6日(土) 榎の木盆踊り大会  
(利用者向け)

8月10日(水) 榎の木盆踊り大会  
(規模を縮小して実施予定)

11月19日(土) かしの木フェスティバル

1月21日(土) 榎の木交流会

※行事の開催は、コロナ禍の状況により、変更となる場合があります。

今年度は、榎の木盆踊り大会を実施する予定です。今から楽しみですね♪